

A c t i v e C h a n g e
～能動的な運動にこそ望む未来が訪れる～

【はじめに】

近年、地域の状況は目まぐるしく変化し、青年会議所を取り巻く環境も大きな変化を余儀なくされています。特に2020年から発生した新型コロナウイルスの影響は奈良の経済にも暗い影を落とし、未だに明るい兆しが見えない状況にあります。このような厳しい経済状況のなか、青年会議所運動に対して「こんな状況では活動できない」「こんな時にJCやってる場合じゃない」そんな言葉を聞くことも多くあります。しかし、こんな時だからこそ、私たち青年会議所はこれまで掲げてきた明るい豊かな社会の創造という理念を見つめなおし、地域に対して情熱と志をもって元気に活動することが何より求められているのではないのでしょうか。

そのためには、私たちを育ててくれたこの地域を、また、所縁あって仕事をし、家族と生きているこの奈良の地を元気に出来るのは青年である私たちだという気概と覚悟を持たなければなりません。そして、今何が出来るのか、どんな事業が必要か、という課題をいつも念頭に置いて活動しなければなりません。さらに、何事に対しても真摯な姿勢で取り組み、考え、悩み、実行する事業を通じて多くの方々の心に私たちの想いを伝えていかなければならないのです。

【青年会議所とは】

皆さんは青年会議所運動をどのように理解されていますか。運動に価値を見出し、得られる効果を自らの糧としながら、地域に対して貢献できているのでしょうか。青年会議所とは奉仕、修練、友情を信条として明るい豊かな社会を実現するべく運動を展開する団体です。では、皆さんが考える明るい豊かな社会とはどんな社会でしょうか。私たちはそれぞれが仕事、家庭、また、運動を通じて様々な人と関わりながらこの奈良の地で生活しています。地域で暮らす一員として、地域を知り、地域とともに心豊かに生活できるための一助として青年会議所は存在しています。

では、なぜ明るい豊かな社会を目指すことができるのか。それは、先輩諸兄がメンバーとして活躍された時代から変わることなく、61年に渡って目指すべき目標を公言し、地域にて運動を展開しながら信頼と実績を積み上げてきたからこそ、今を生きる私たちは一切の迷いなく明るい豊かな社会を目指す運動を展開することができるのです。

そんな理想と現在の状況との狭間で、今、この場にいる私たちに何ができるのか。まず私たち自身が地域と自らに対して想像力を働かせましょう。そして、想像した地域の姿、自らの未来像に近づくため、能動的に行動を起こしましょう。その想いと行動は、地域のため、地域で暮らす方々のため、そして自分自身の成長に必ずつながります。

青年会議所とはどんな団体なのか、そこであなたはどんな行動を起こすのか、学ぶことに躊躇せず、想像しましょう。行動しましょう。あなたの想像力と能動的な行動により見える世界は大きく広がります。

【奈良を元気に】

私たちが住み暮らす奈良は、歴史と文化を重んじ、神仏や自然、自らを構築する全ての事象や、関わる人々に感謝の心を持ちながらともに歩んできた地域であるからこそ、国際文化観光都市として、世界に観光、文化、親善を促進できる地域であります。

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け疲弊した地域に対して、私たちが出来ること、それは運動の継続に他なりません。地域に根差し、牽引する運動を行う私たちが、自身の活動に対して閉塞感を抱いてしまうと、その不安は伝播します。私たちは今こそ、現在の課題である、地域の魅力を再確認し、地域を担う産業を活性化させる運動を展開し、奈良の地で住み暮らすことへの喜びと感謝を地域の方々へ伝えなければなりません。

私たちの行動は決して無謀であってはなりません。しかし、常に前向きに可能性を求めて地域を巻き込み、意識変革を目指す運動は必ず地域に活力を与えます。奈良を元気にするために、運動を展開し続けましょう。

【未来を描く】

今、世の中は新型コロナウイルス感染拡大により大きな混乱が生じ、私たちの生活様式は一変しました。デジタル技術の進歩により、社会生活は一定の水準は保たれているように見えますが、その実、普及状況による格差が生まれ、目標に対して信頼関係を築き上げる機会が大きく失われています。しかし、負の連鎖だけではありません。リモートワークやWEB会議など、新たな働き方が浸透し、家族との関わり方や、生活スタイルにも新たな可能性を与えてくれています。その結果、時代の変化に柔軟に対応できる若い世代に活躍の機会が与えられ、団塊の世代が先陣をきり戦後の高度経済成長、バブル期、平成不況を経験しながら日本を築いてこられた様に、青年が社会を先導し、未来を創造する時代がやってきます。私たちは青年としての自覚を持ち、子供たちが生き抜くために必要な知識と、未来を担う意識を醸成し、未来を描くための道標とならなければならないのです。

未来を描くといっても、未だ見ぬ技術を創造する訳ではありません。私たちが生活を営む上で、安心、安全なまちであるために何が必要なのか。未来を担う子供たちに何を伝えることができるのか。地域の現状を今一度見つめ、この奈良の地で住み暮らすことへの喜びを持てる地域を創りましょう。

【地域とともに】

私たちの活動は、地域に対してポジティブな効果を与える事業開催を通じて、新たな意識変革を与える事が重要です。しかし、地域の課題を抽出する工程において、この奈良の地の状況が本当に理解できているのでしょうか。地域とは、自分と自分の家族が住み暮らす場所であり、決して机上の空論ではないのです。大切なことは、青年会議所運動の効果が、私たちを含む地域に対してポジティブな成長を促進することです。これまで続けてきた事を踏襲するだけでは意識変革はできません。私たちは今一度、自分で考え、自分で行動できる個人と組織に進化し、自分と自分の家族が住み暮らすこの奈良の地域の課題を抽出し、共に課題解決のための運動展開を実行しなければなりません。そのためにまず行わなければいけないことは、地域を知ることです。地域を知らずして、地域を語ることはできません。地域と触れ合い、地域とともに在ることを再認識しましょう。

【私たちの使命とは】

私たちは自らの意思、もしくは会社からの期待を受けて、限りある時間とお金を自分の意志決定のもと、青年会議所活動に投資しています。にもかかわらず、忙しい、時間が無いという理由を作って、自己投資という部分が後回しになり、時間とお金を浪費する傾向にあるように思います。青年会議所活動への投資から得られる利益は主に知識・能力・人脈・自信（実績）の4つです。また、単年度で役職が変化する青年会議所において、この利益は1年毎に得られるものが変わります。今一度、私たち自身が自分自身に投資しているということを意識し、成長という利益を得るために多くのメンバーを巻き込み積極的に活動に参加しましょう。そうすれば、この自分づくりの投資は活性化し、より大きな利益となって返ってきます。私たちは青年です。現状の自分に満足せず、能動的に、青年経済人として地域を牽引するリーダーとしての成長を求めましょう。

【柔軟かつ強靱な組織づくり】

近年、デジタル技術の革新により徐々に変化していた働き方に関する常識がコロナ禍を経て大きく加速しました。この新たな常識をもとに私たちの組織もアップデートしなくてはなりません。新たなデジタルツールを積極的に活用し、より闊達で質の高い議論ができる形を模索しアップデートし続ける必要があります。また、広報活動においても SNS の普及により、拡散の手法は大きく進化を遂げました。私たちは誰に対して何をどのように発信するのかを今一度考えなければなりません。そして、情報の正確性、倫理や道徳、社会的規範なども含めたコンプライアンスに対しても組織として、青年経済人として、知識を共有しなければなりません。

組織は常に進化を求めて時代の変化に対応しなければなりません。これから行うことが正解なのか、さらに変化をするべきなのか、組織としての在り方を模索し続けましょう。

【会員拡大と指導力開発】

40歳という限られた時間の中で活動を行う私たちにとって、会員の拡大は必ず行わなければならない事の1つです。なぜ40歳までしかできないのか。それは、青年会議所は青年の真摯な情熱と行動力を結集し社会貢献活動を行うために、常に組織を活性化させ新しい事に挑戦する機会を提供し続ける団体だからです。そして、1年毎に様々な役職を経験し、在籍時に多くの経験を積み重ねて自分自身を成長へと導くために単年度制という制度を取り入れています。

新しく迎え入れる方に対し、事業、例会への参加による経験を通じて、組織の在り方、リーダーとしての在り方を周知し、組織を牽引し活性化へと導く情熱と行動力を持った仲間へと意識変革を行うために尽力しなければなりません。私たちは背中を見せるだけでなく、話し合い、耳を傾け、ともに歩む同志を指導する事を糧に、私たち自身も成長するという気概を持って常に行動する自覚を持ちましょう。

【奈良ブロック大会開催を迎えて】

2021年度は奈良ブロック大会主管を務めさせていただくことになります。奈良ブロック協議会はもちろん、奈良県内9LOMと大会構築に関する理念を共有し、所属LOM地域の垣根を超えた運動、活動を展開してまいります。また、県内地域、行政、関係諸団体とも密接に連携し、奈良県に住むすべての方々に、奈良の持つ古の歴史と、新たな魅力を発見していただく絶好の機会となります。奈良ブロック大会開催を通じて、地域に活力を与え、明るい豊かな社会へと導きましょう。

【おわりに】

リーダーとは、人より能力が高いことではなく、苦手なことに挑戦し、問題解決のために誰より悩んで誰よりこだわり、奢らず、威張らず、全てのことに感謝する心を忘れず、高い志と優しい心を持ち合わせた人である。私は青年会議所で様々な同志、先輩と出会い、リーダーとしての姿を教えてくださいました。先輩諸兄からの志を受け継ぎ、未来へとつなぐ事が出来るのは今を生きる私たち青年です。出来ない理由を探しては前に進めません。運動に価値を見出し、率先して行動することで得られる効果を自らの糧としながら、地域に貢献できるのは、青年会議所会員として在籍しているあなたなのです。

私たちは常に地域とともにあります。地域を想い、前向きに一步を踏み出す勇気を持った青年の集団である私たちだからこそ明るい豊かな社会を創造できるのです。